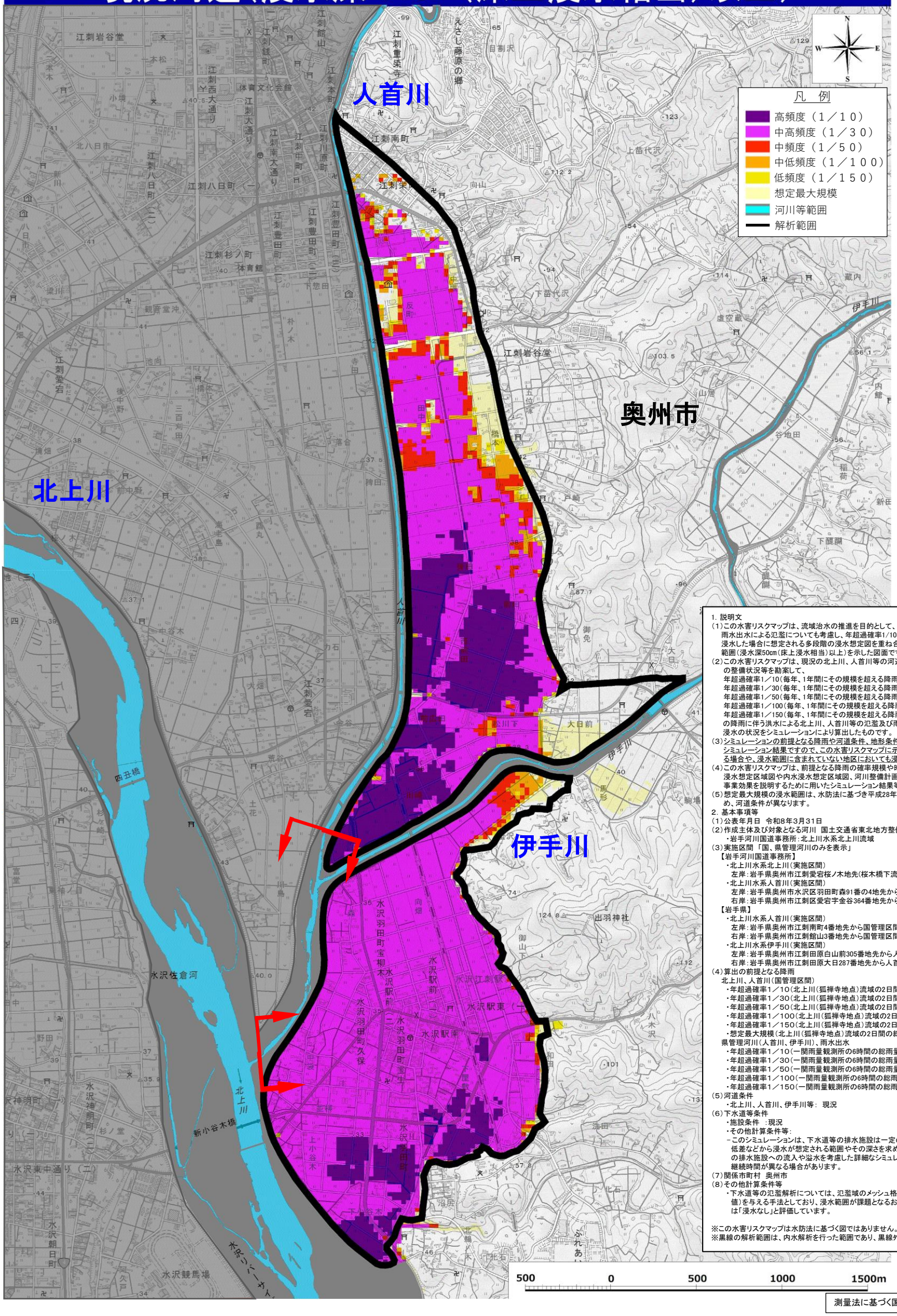
北上川水系伊手川地域　内外水統合型の水害リスクマップ
【現況（浸水深50cm以上の範囲）】

水害リスクマップ
現況河道（浸水深 50cm（床上浸水相当）以上）



1. 説明文
（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
（2）この水害リスクマップは、現況の北上川、人首川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、
年超過確率1／10（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1／10（10%））、
年超過確率1／30（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1／30（3%））、
年超過確率1／50（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1／50（2%））、
年超過確率1／100（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1／100（1%））、
年超過確率1／150（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1／150（0.7%））
の降雨に伴う洪水による北上川、人首川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
（3）シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
（4）この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
（5）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
（1）公表年月日　令和8年3月31日
（2）作成主体及び対象となる河川　国土交通省東北地方整備局
・岩手河川国道事務所：北上川水系北上川流域
（3）実施区間「国、県管理河川のみを表示」
【岩手河川国道事務所】
・北上川水系北上川（実施区間）
左岸：岩手県奥州市江刺愛宕桜ノ木地先(桜木橋下流)から同市水沢羽田町沢尻地先まで
・北上川水系人首川（実施区間）
左岸：岩手県奥州市水沢区羽田町森91番の4地先から北上川合流点まで
右岸：岩手県奥州市江刺区愛宕字金谷364番地先から北上川合流点まで
【岩手県】
・北上川水系人首川（実施区間）
左岸：岩手県奥州市江刺南町4番地先から国管理区間まで
右岸：岩手県奥州市江刺館山3番地先から国管理区間まで
・北上川水系伊手川（実施区間）
左岸：岩手県奥州市江刺田原白山前305番地先から人首川合流点まで
右岸：岩手県奥州市江刺田原大日287番地先から人首川合流点まで
（4）算出の前提となる降雨
北上川、人首川（国管理区間）
・年超過確率1／10（北上川（狐禅寺地点）流域の2日間の総雨量132mm）
・年超過確率1／30（北上川（狐禅寺地点）流域の2日間の総雨量160mm）
・年超過確率1／50（北上川（狐禅寺地点）流域の2日間の総雨量173mm）
・年超過確率1／100（北上川（狐禅寺地点）流域の2日間の総雨量190mm）
・年超過確率1／150（北上川（狐禅寺地点）流域の2日間の総雨量200mm）
・想定最大規模（北上川（狐禅寺地点）流域の2日間の総雨量264mm）
県管理河川（人首川、伊手川）、雨水出水
・年超過確率1／10（一関雨量観測所の6時間の総雨量86mm）
・年超過確率1／30（一関雨量観測所の6時間の総雨量106mm）
・年超過確率1／50（一関雨量観測所の6時間の総雨量116mm）
・年超過確率1／100（一関雨量観測所の6時間の総雨量130mm）
・年超過確率1／150（一関雨量観測所の6時間の総雨量137mm）
（5）河道条件
・北上川、人首川、伊手川等：　現況
（6）下水道等条件
・施設条件　：現況
・その他計算条件等：
－このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
（7）関係市町村　奥州市
（8）その他計算条件等
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が課題となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。
※黒線の解析範囲は、内水解析を行った範囲であり、黒線外の着色は外水のみの影響を示しています。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 861